



Family Times



2002年11月1日発行 第60号

理事長あいさつ

木々は冬を迎える準備に入りつつありますが、皆様にはいかがお過ごしでしょうか。
おかげさまで、多くの皆様の強力なご声援によりましてブロードバンド導入への取り組みも順調に進み、本誌をお読みいただいている頃には各戸工事の真っ最中にあるものと思われます。
今現在、契約数は約200を数えました。予想を上回る立ち上がりの早さに工事日程も若干押され気味にありますが、一部を除き大半は11月中に終了させるよう着実に進行させております。

そのような中で、理事長就任後こつこつと訪問させていただきましたお宅も約80戸に達しました。
お会いした際にいただきました皆様の心強いご声援のひとつひとつが私にとって大切な財産となり、同時に活動の原動力にもなっております。この場をお借りしまして深くお礼申し上げます。
今後ブロードバンドは導入から運用への段階へと移行することになりますが、これからが正念場と捉え気をゆるめることなく確実に段階を経て参りたいと思います。

なお、今期理事会におきましては、ブロードバンドの次は更に大きな懸案事項である給水管補修工事の実施であると考え、9月末の競争見積りの公募を経て業者選定を実施いたしました。

最終的に7社による競争見積りの結果、その中で最も低金額を提示した東急コミュニティーが工事施工会社として決定されております。なにぶん全棟の共用部分に関わる大規模な補修工事となりますので、今期末の完了を目差して確実に進行させて参りたいと思います。

後日、工事に関する説明会の開催も計画しておりますので、是非とも多くの皆様のご参加をお願い申し上げます。

最後に、現在の各専門委員会の活動ポイントをお知らせします。

(ごみ問題専門委員会)

年末に向けてのごみの出し方と、ペットボトル等再利用可能な資源ごみの出し方の周知活動を展開中。

(緑化専門委員会)

自然のリサイクルを目的として、腐葉土づくりを検討中です。すでに中参や近隣公園内に設置されているような形での専用場所を想定した検討を進めております。

(駐車場問題専門委員会)

現用の駐車場を有効に活用する目的で、カーシェアリングを検討(勉強)中です。

これは車の所有を否定するものではなく、「駐車しているが、あまり乗らないので常時は必要ない。」あるいは「維持費が高いので困っている。所有にはこだわらない。」というような方を対象にして、簡単に表現すれば「共同運用」を想定し、利用頻度の少ない車を削減して空いたスペースを駐車場待ちの方にご利用いただこうと目指しているものです。くれぐれも誤解のないようご理解と、ぜひ勉強会への積極的な参加もお願いいたします。

※ ブロードバンドでお困りの際には、お気軽にご相談ください。

4-506櫛谷 E-mail : kushie@ja2.so-net.ne.jp (理事長/ブロードバンド専門委員)

Q予約、利用は24時間対応できますか？

予約はインターネット(パソコン、携帯電話)方式を取れば人件費も掛からないし、24時間対応も可能です。また、ICカード方式を取れば24時間利用も可能です。

Q事故の場合保険はどうなりますか？

運用車にはあいおい生命の新品「カーシェアリング保険」を付けたいと考えています。

Q全街区で検討されてはいかがでしょう？

将来的には全街区で実施する方向で我々も検討しています。既に中2の動きに応じて他街区の有志も一緒に研究しようとの気運も出て来ています。ただ、先行の街区としてまず当街区でカーシェアリングの実用性を実証することだと思います。会員、運行車が増えれば増える程、費用効率、使い勝手(空車率)も上がります。



街の落葉を腐葉土に利用してみては

——— ごみ問題解決に ごみ専門委員会との連携を模索 ———

緑化委員会からのお知らせ

落葉の季節になりました。くぬぎ、けやき、いちようなどの乾いた音を足に感じながら歩くのもなかなか風情のあるものですが、最後にはごみとして捨てられてしまいます。

今、緑化委員会では、この落葉を一ヶ所に集め熟成させて腐葉土を作り、植物の養分として吸収させ、再び土に帰す方法を考えています。落葉をためる場所、入れ物の大きさ、外観などを検討しています。費用もなるべく節約したいです。すでに、他の街区で作られたものも参考にする必要もありそうです。

具体案がまとまりましたら、ごみ専門委員さんや理事会の方々にもご意見を伺い、ご協力を得て是非実現させたいと思います。その際、穴を掘ったり、力をお貸しいただくかもしれません。よろしくお願いいたします。

もうひとつご報告です。円形広場近くの「源平しだれ桃」(大規模修繕の際に寄贈された記念樹)に虫がつき、弱ってきたため幹に薬品を注入し、布で巻いて中の虫を弱らせる処置をしました。被害はかなり大きく重症なため、元どおりに元気を取り戻してくれるか、この処置の効果と回復力に期待をかけ、様子を見ているこのごろです。(花田記)



資源ごみの勉強会が開催される

——— 最近 ごみの不法投棄が問題化 ———

ごみ問題専門委員会からのお知らせ

資源ごみ勉強会(7/7)

講師:古繊維回収業の石川利昭さん 参加者:20名

家庭から廃棄され、「布資源」として、回収された衣類は、どのように処理されているのでしょうか？
その行方について、様々な側面からお話していただきました。

内容の一部をご紹介します。

回収された衣類は手選別により以下の4種に大別されます。

①輸出用中古衣料としてそのままの形でつかうもの

夏物衣料やジャージ類は東南アジアに輸出される

★冬物衣料は需要が少ない

②工場用ウェス(機械油を拭くぞうきん)に加工するもの

洗濯済みで、着古したTシャツや下着、パジャマ、タオル、シーツなどをカットして使う

③綿にほぐして(反毛)再製品化するもの

フェルト(自動車内張り・建築防音材)、軍手をつくる

④自治体に返却し、焼却処分するもの

繊維以外の不純物や化学繊維、ペットボトル系、制服類など

濡れているもの、汚れているものは腐敗するのでリサイクル不可能

★雨の日は絶対に出さないようにしてほしいそうです。

現在古繊維業は、

- ・中古衣料輸出国の競合による価格の低迷
- ・工場の海外移転に伴うウェス需要の停滞、紙ウェス・レンタルウェスとの競合
- ・自動車業界の新品原料フェルトへの切替えによる反毛フェルト需要の減少
- ・衣類のワンシーズン化が進んで古着の回収量が急増し、選別が追いつかない
など、複雑な問題を抱えているとのことでした。

不要衣類を排出する際にリサイクルできるような出し方をすることはもちろんですが、それとともに価格やファッション性にとらわれがちな私たちの消費行動を改め、衣類の排出量を減らす努力をすることが重要であると感じました。

★★★ごみ専門委員会の定例会はどなたでも参加できますので、気軽にお越しください。

日時につきましては、中武管理事務所にお問い合わせください。



ごみの不法投棄について



中央の森式番街では、不法投棄されたごみの処理費用を管理費から支出しており、平成13年度は85,000円にもなりました。その内容は、テレビ・冷蔵庫・エアコンといった家電製品のほか、角材・石膏ボード・消火器・バッテリー・タイヤといった処理困難なごみの数々です。

志木ニュータウンのごみ集積所は、道路わきにあって24時間オープンであることから、粗大ごみや産廃ごみの不法投棄をまねきやすい場所となっています。このような、タイプの集積所は最近ではめずらしくなってきました。それ故にごみの不法投棄は、今後も増加することが予想されます。

他の集合住宅では、ごみ集積所を鍵のかかるように改築している例もありますが、工事には多額の費用が見込まれます。いろいろ改善策を模索しておりますので、皆様のご意見をお寄せください。

★★★本号の最後にごみの廃棄方法を詳細に載せていますので、各ご家庭におきましては、ご協力をお願いいたします。

Q予約、利用は24時間対応できますか？

予約はインターネット(パソコン、携帯電話)方式を取れば人件費も掛からないし、24時間対応も可能です。また、ICカード方式を取れば24時間利用も可能です。

Q事故の場合保険はどうなりますか？

運用車にはあいおい生命の新品「カーシェアリング保険」を付けたいと考えています。

Q全街区で検討されてはいかがでしょう？

将来的には全街区で実施する方向で我々も検討しています。既に中2の動きに応じて他街区の有志も一緒に研究しようとの気運も出て来ています。ただ、先行の街区としてまず当街区でカーシェアリングの実用性を実証することだと思います。会員、運行車が増えれば増える程、費用効率、使い勝手(空車率)も上がります。

街の落葉を腐葉土に利用してみては

——— ごみ問題解決に ごみ専門委員会との連携を模索 ———



緑化委員会からのお知らせ

落葉の季節になりました。くぬぎ、けやき、いちようなどの乾いた音を足に感じながら歩くのもなかなか風情のあるものですが、最後にはごみとして捨てられてしまいます。

今、緑化委員会では、この落葉を一ヶ所に集め熟成させて腐葉土を作り、植物の養分として吸収させ、再び土に帰す方法を考えています。落葉をためる場所、入れ物の大きさ、外観などを検討しています。費用もなるべく節約したいです。すでに、他の街区で作られたものも参考にする必要もありそうです。

具体案がまとまりましたら、ごみ専門委員さんや理事会の方々にもご意見を伺い、ご協力を得て是非実現させたいと思います。その際、穴を掘ったり、力をお貸しいただくかもしれません。よろしくお願いいたします。

もうひとつご報告です。円形広場近くの「源平しだれ桃」(大規模修繕の際に寄贈された記念樹)に虫がつき、弱ってきたため幹に薬品を注入し、布で巻いて中の虫を弱らせる処置をしました。被害はかなり大きく重症なため、元どおりに元気を取り戻してくれるか、この処置の効果と回復力に期待をかけ、様子を見ているこのごろです。(花田記)

資源ごみの勉強会が開催される

——— 最近 ごみの不法投棄が問題化 ———



ごみ問題専門委員会からのお知らせ

資源ごみ勉強会(7/7)

講師: 古繊維回収業の石川利昭さん 参加者: 20名

家庭から廃棄され、「布資源」として、回収された衣類は、どのように処理されているのでしょうか？

その行方について、様々な側面からお話していただきました。

内容の一部をご紹介します。

回収された衣類は手選別により以下の4種に大別されます。

①輸出用中古衣料としてそのままの形でつかうもの

夏物衣料やジャージ類は東南アジアに輸出される

★冬物衣料は需要が少ない

②工場用ウェス(機械油を拭くぞうきん)に加工するもの

洗濯済みで、着古したTシャツや下着、パジャマ、タオル、シーツなどをカットして使う

③綿にほぐして(反毛)再製品化するもの

フェルト(自動車内張り・建築防音材)、軍手をつくる

④自治体に返却し、焼却処分するもの

繊維以外の不純物や化学繊維、ペットボトル系、制服類など

濡れているもの、汚れているものは腐敗するのでリサイクル不可能

★雨の日は絶対に出さないようにしてほしいそうです。

現在古繊維業は、

- ・中古衣料輸出国の競合による価格の低迷
- ・工場の海外移転に伴うウェス需要の停滞、紙ウェス・レンタルウェスとの競合
- ・自動車業界の新品原料フェルトへの切替えによる反毛フェルト需要の減少
- ・衣類のワンシーズン化が進んで古着の回収量が急増し、選別が追いつかないなど、複雑な問題を抱えているとのことでした。

不要衣類を排出する際にリサイクルできるような出し方をすることはもちろんですが、それとともに価格やファッション性にとらわれがちな私たちの消費行動を改め、衣類の排出量を減らす努力をすることが重要であると感じました。

★★★ごみ専門委員会の定例会はどなたでも参加できますので、気軽にお越しください。

日時につきましては、中武管理事務所にお問い合わせください。



ごみの不法投棄について



中央の森弐番街では、不法投棄されたごみの処理費用を管理費から支出しており、平成13年度は85,000円にもなりました。その内容は、テレビ・冷蔵庫・エアコンといった家電製品のほか、角材・石膏ボード・消火器・バッテリー・タイヤといった処理困難なごみの数々です。

志木ニュータウンのごみ集積所は、道路わきにあって24時間オープンであることから、粗大ごみや産廃ごみの不法投棄をまねきやすい場所となっています。このような、タイプの集積所は最近ではめずらしくなってきました。それ故にごみの不法投棄は、今後も増加することが予想されます。

他の集合住宅では、ごみ集積所を鍵のかかるように改築している例もありますが、工事には多額の費用が見込まれます。いろいろ改善策を模索しておりますので、皆様のご意見をお寄せください。

★★★本号の最後にごみの廃棄方法を詳細に載せていますので、各ご家庭におきましては、ご協力をお願いいたします。

(理事会より)

各ご家庭周りで、弐番街で生活するにあたってお気づきの点、あるいはご意見がございましたら、各棟代表の理事会メンバーにご遠慮なくお申し出ください。理事会では、毎月定期的に会合をもち、様々な問題を取り上げ議論検討しております。

(本号の発行にあたって)

暑かった夏もあっという間に去り、清々しい季節がやってきました。弐番街の樹木も色づき、街はすっかり秋色になりました。前半期の理事会は、このところ急速に問題化してきたブロードバンドインターネット環境の充実を中心に活動してきました。もちろん駐車場問題、自然環境問題、ごみ問題、建物設備老朽化問題等々このニュータウンの問題をとりまく課題は山積しています。そこで、それぞれの専門委員会の方々による熱意あふれる活動をファミリータイムスにご紹介し、本号を皆様にお届けすることで、組合員の方々にも広く地域の問題としてあらためてご認識いただければと思いました。各専門委員会の方々には、本号の原稿をお願いいたしましたが、お忙しい中であって快くお引き受けいただきました。紙上をお借りして厚く御礼申し上げる次第です。(編集子記)

コンテナ

★可燃ごみのカサを減らす工夫を！

- ・可燃ごみをダンボール箱に入れて出すのはやめましょう。
- ・袋の空気を抜くようにしばってください。



ペットボトル

- ★ラベルとキャップをはずして、
- ★中をすすいで、
- ★つぶして、出しましょう

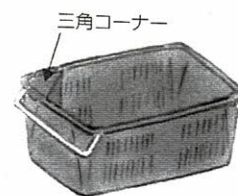
大量・無分別なごみが
一時に出されると
処理がたいへんです！

不燃ごみ

★収集日は毎月第2/第4月曜日です。
当日に出しましょう。

- ・割れたせとものやガラスは透明ポリ袋に入れ、専用カゴへ。
- ・カミソリの刃や針などは、カンに入れて「キケン」表示を！
- ・バッテリーは収集されません。集積所に出さないでください。
- ・傘の張り地は、はずして、可燃ごみへ。

一斗缶(24×24×35cm)より
大きな物、長さのある物は
粗大ごみです。



びん/かん

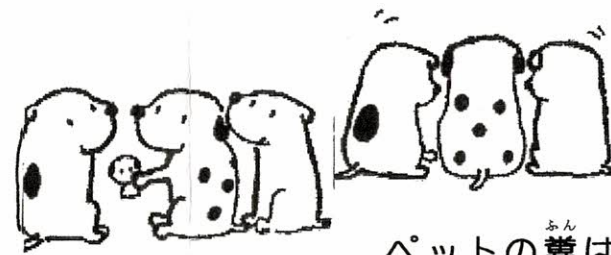
ふたははずして分別し、
中をすすいで出しましょう。

アリ・ハエ・蚊のえさと、
悪臭の元になっています。

プラスチック

★収集用のネットに移すときに、袋から出して、バラしてください。

※汚れている物は
可燃ごみです。



ペットの糞は
そのままコンテナに
入れずに、いったん
ご家庭で処理して
ください。

紙類 新聞・ダンボール・雑誌・雑紙

★木曜日の朝、8時までに
出しましょう



- ・ポリ袋に入れないで。
- ・ひも(できれば紙ひも)でしばって出す。
- ・新聞は地域の学校の古紙回収をご活用ください。

粗大ごみ置き場も屋根がありません

風雨にさらされた物は、再利用できなくなります。

できるだけ収集日(毎月第3月・火曜日)に合わせて出しましょう。
市役所に電話連絡すれば、富士見環境センターに直接搬入することもできます。

※処理方法に迷うものについては、市役所にご相談下さい。

志木市環境推進課 Tel 473-1111 内線 2315・2316